

聖和短期大学通信 No.13

卒業生の皆さまには、ますますご活躍のこととおよろび申し上げます。さて、今年も聖和短期大学通信を、お手元にお届けいたします。聖和短期大学の『今』の様子や先生方からの近況報告を掲載しました。学生時代のことや聖和キャンパスを思い出しながらご一読ください。

コロナ禍の保育者養成 - 「子どもの育つ力」「後伸びする力」を重視した保育者養成を -

新型コロナウイルスの感染拡大により、従来とは違う生活形式で過ごさなくてはならない状況となりました。これまでの普通の日々がいかに豊かで満たされた時であったことを改めて感じさせられたのではないのでしょうか。

2020年度春学期は、全面オンライン授業を実施しました。保育を学ばれた皆さんなら想像できるかと思いますが、保育の授業がパソコンを通して遠隔授業となったのです。また、パソコンを学生に提供、Zoom（同時双方向型）ソフトの購入、学生への経済的支援、教室の換気設備の増強工事など、かなりの金額を使い、学生の夢の実現のため、できる限りのことに取り組んできました。

残念ながら2019年度卒業式と2020年度入学式はできませんでしたが、感染状況を踏まえ、2019年度卒業式に関しては2021年3月20日に、2020年度入学式に関しては2021年3月30日に実施できました。

コロナ禍2年目の2021年度春学期からは、対面授業の割合を半分としました。対面授業では、これまで普通にできていた仲間と学びを共有することが非常に貴重であることを学生が実感していました。また、幼稚園・保育所・施設・児童館での実習に備え、実習生にPCR検査を実施しました。これは実習先の子どもや保護者、教職員の健康と安全を確保するとともに、実習生自身も安心して実習に取り組むことができるよう配慮したものです。実習は、保育者を目指すものにとって、子どもとの出会いや保育職への喜びを感じ取れる貴重な体験の場です。コロナ禍であっても、少しでも安心して充実した実習を実施できるよう、今後も支援していきたいと思えます。

2021年度秋学期は全面的に対面授業を再開しました。キャンパスに学生がいることで保育を学ぶ「風」を感じるようになりました。竹中真さんや安田美穂子さんのコンサート、関西学院グリーンクラブの歌声、収穫感謝の芋ハンティング（イースターエッグの代わり）など、コロナ禍でできなかったことを、少しでも充実した時を過ごせるようにと実施しました。また、1月には西宮市長から西宮の子育て支援の現状について学ぶ機会を設けました。

時代の変化とともに幼児教育・保育の重要性は増し、従来の「子ども中心の保育」に加えて、「子どもの育つ力」「後伸びする力」など、急速に変化する社会を生きていく子どもたちのために新しい保育・幼児教育が注目されています。

「聖和」は、常に時代の先端を走りつづける「聖和」でなければなりません。人から信頼され、いつも必要とされる質の高い保育者養成を行なってまいります。今後もさまざまな面からご支援をお願いいたします。

学長 千葉 武夫

2021年度の主なスケジュール

(2021年4月～2022年3月)

昨年に続き、新型コロナウイルス感染症の影響で例年とは違った形式の学校生活になりましたが、感染症対策を行った上で行事やイベントを実施しました。

4月1日	入学式	12月16日	クリスマス礼拝
4月22日	イースター礼拝	1月19日	西宮市長講演
6月10日	ペンテコステ礼拝	3月16日	卒業感謝礼拝
9月25日	保証人対象 教育懇談会（Zoom）	3月17日	卒業式
11月18日	収穫感謝祭		
12月6日	上ヶ原キャンパス合同礼拝		

入学式



春爛漫の美しい季節の中、
入学式が行われました。
聖和短期大学生として
新たな一歩を踏出しました！



イースター



復活祭を祝ってエッグハントを実施！
みんな見つけられたかな？

合同礼拝



日本最古の男声合唱団「関西学院グリークラブ」を迎えて、
1年生・2年生合同で礼拝を行いました。

授業「子どもの健康と安全」

保健活動の重要性について学びました。
子どもの疾病や事故の特徴とその予防について、
適切な対応や技術を習得するとともに、保健活動の
計画及び評価、子どもの心とからだの健康問題や
地域保健活動についても理解できるよう
演習を行いました。



収穫感謝祭



神さまからの恵みに感謝し、
みんなでサツマイモを
いただきました！



ツリー点灯式



この時期、学院全体にクリスマスの飾りが
施されとても華やかになります。
聖和の歴史を静かに見守るヒマラヤスギも、
色鮮やかにライトアップされていますね。



前列左から

千葉 武夫 (教授・学長)

主な担当科目：
乳児保育、学校安全 他

小山 顕 (専任講師)

主な担当科目：
子ども家庭支援の心理学、
児童館実習 他

波田 英治 (准教授)

主な担当科目：
子ども家庭福祉、社会的養護 I 他

竹内 伸宜 (教授)

主な担当科目：
発達心理学、教育心理学 他

中列左から

小見 のぞみ (教授・宗教主事)

主な担当科目：
キリスト教学、子どもと人権 他

碓氷 ゆかり (教授・教務主任)

主な担当科目：
子どもの保健、保育指導法 他

坂口 将太 (准教授)

主な担当科目：
保育内容「健康」、子どもと健康 他

森 知子 (准教授)

主な担当科目：
子どもと環境、保育実習 I - A、II 他

持田 葉子 (准教授・学生主任)

主な担当科目：
保育内容「表現B」、教育実習 他

山内 信子 (専任講師)

主な担当科目：
音楽 I、II、子どもと表現B 他

後列左から

大北 理津子 (専任講師)

主な担当科目：
保育内容総論、子どもと言葉 他

河本 啓吾 (短大事務室課長)

手良村 昭子 (教授)

主な担当科目：
保育内容「表現A」、
保育・教職実践演習 (幼) 他

右上

立花 直樹 (准教授)

主な担当科目：
特別支援教育、
保育実習 I - B (施設実習) 他

INFORMATION

☆2023年度入学 入学試験のお知らせ

2023年度入学生向けの入学試験を下記のとおり実施予定です。総合型選抜入試では、自己推薦できる者のほか、幼稚園・保育所・認定こども園等の園長が推薦する者あるいはキリスト教の洗礼を受けている者に該当しても出願が可能となっています。ぜひ、周りで保育・幼児教育にご興味ある方がいらっしゃれば、本学受験をお勧めいただければと思います。詳細につきましては本学ホームページをご参照ください。

※総合型選抜Ⅰ（エントリー型）は、5月下旬から8月にかけて随時エントリーを受け付け、出願可否を判断する面接を実施します。

入試区分	出願期間	試験日	可否発表日	入試区分	出願期間	試験日	可否発表日	
総合型選抜Ⅰ（エントリー型）※	2022年9月1日(木)～9月13日(火)		11月1日(火)	一般選抜	A	2023年1月6日(金)～1月27日(金)	1月28日(土) 2月2日(木)	
					B	2023年2月9日(木)～2月28日(火)	3月1日(水) 3月3日(金)	
総合型選抜Ⅱ（直接出願型）	A	2022年9月14日(水)～9月23日(金・祝)	10月1日(土) 11月1日(火)	社会人	A	2022年9月30日(金)～10月21日(金)	10月29日(土) 11月10日(木)	
	B	2022年9月30日(金)～10月21日(金)	10月29日(土) 11月10日(木)		B	2022年11月28日(月)～12月9日(金)	12月17日(土) 12月22日(木)	
	C	2022年10月24日(月)～11月11日(金)	11月19日(土) 12月1日(木)		C	2023年1月6日(金)～1月20日(金)	1月28日(土) 2月2日(木)	
	D	2022年11月28日(月)～12月9日(金)	12月17日(土) 12月22日(木)		D	2023年2月9日(木)～2月24日(金)	3月1日(水) 3月3日(金)	
	E	2023年1月6日(金)～1月27日(金)	1月28日(土) 2月2日(木)					
	F	2023年2月9日(木)～2月28日(火)	3月1日(水) 3月3日(金)					
学校推薦型選抜	専願 A・B・C・D	2022年11月1日(火)～11月11日(金)	11月19日(土) 12月1日(木)					
	併願	2022年11月28日(月)～12月9日(金)	12月17日(土) 12月22日(木)					

☆認定ベビーシッター資格登録更新手続きのお知らせ

2016年度（2017年3月）の卒業生で認定ベビーシッター資格を取得された方は、登録更新を迎えますので、お手続きください。

資格更新期限は5年間となっておりますので、お手元の登録証（カード）の有効期限をご確認ください。

※手続き窓口は右記参照→

【手続窓口】

公益社団法人 全国保育サービス協会

（旧称：社団法人 全国ベビーシッター協会）

〒160-0007 東京都新宿区荒木町5-4 クサフカビル2階

TEL 03-5363-7455 E-mail info@acsa.jp

※手続の詳細はこちらのURLへ

www.acsa.jp

☆「保育実践力育成プログラム（BP）ー保育の学び直しプログラムー」のご案内

本プログラムは、保育の現場で働く人材の確保のために、しばらく職場を離れていた幼稚園教諭や保育士が職場復帰を希望する際や、資格を持ちながらも働いていない保育士等に対して、最近の保育の状況・動向等を現場実習も含めて学ぶことができるようなプログラムを提供するものです。

この講座の特徴は、自信を持って職場復帰することができるように新しい保育制度や家庭支援等の理論、アレルギーや危機管理等の保育配慮する事項、保育実践等の内容、および現場実習で編成しています。また、本プログラムの内容は、現職の保育士が「質の高い保育」を実施するために重要な事項も含まれており、現職研修としても活用できるように計画的に構成しています。

「保育は人の手によって行われる営み」であり、子どもの育ちに大きな影響をあたえるのは「保育者」です。本講座の受講者が、より高度な専門的知識や技術を修得し、今後保育のリーダーとして活躍できる力を育成することを目指しています。

<プログラムの概要>

- 受講要件：①幼稚園教諭免許または保育士資格を有すること。 ○開講科目：保育と研修（集中講義）、保育実践（実習）
②全期間受講できること。 保育学研究演習（演習）
- 受講期間：2022年4月～2023年3月（1年間） （BP）履修証明書を発行いたします。

※寄付金のお願い ～卒業生の皆さまから、学生支援のために～

本学では、学生生活支援および教育研究環境の充実のために、寄付金を募集しております。寄付金のお申し込み及びお問い合わせについては、下記までご連絡をお願いいたします。なお、寄付金のお申し込みの際には、「聖和短期大学のために」と申し添えください。

（※ご協力いただいた寄付金は個人、法人ともに税制上の減免措置を受けることができます。）

お問い合わせは全て下記へご連絡ください。

連絡先 聖和短期大学事務室

住所 〒662-0827 西宮市岡田山7-54

TEL 0798-54-6504 E-mail tandai-jimu@kwansei.ac.jp

URL https://www.kwansei.ac.jp/seiwa_j_college/

2022年3月1日発行

学校法人関西学院 聖和短期大学

学長 千葉 武夫